

入り組んだ部分に施工する場合

振動マルチツール・フィンガーサンディングパッド・専用ウレタンバフ(ポート型)を組み合わせる施工方法が適しています。

ポリッシャーに比べて取り回しが良いのが特徴で、狭い場所に先端を差し込みやすいため入り組んだ部分や奥まった箇所への施工に威力を発揮します。



施工動画 URL

施工に使用する液剤・資材（推奨品）

A + B + D	K	L	M	J	G
A+B 混合液	振動マルチツール (Hikoki CV350V) ※セットには付属しません。	フィンガーサンディングパッド ※セットには付属しません。	専用ウレタンバフ (ポート型) ※セットには付属しません。	高級ウレタンスポンジ ※セットには付属しません。	マイクロファイバークロス ※セットには付属しません。

ホイールへの施工例（振動マルチツール使用）

I 脱脂～液剤塗布



① 施工前

事前に施工面の周囲を養生します。必要に応じて施工面を研磨し、鏡面状態にしてから作業します。



② 脱脂

① 脱脂・手直し剤を ⑥ マイクロファイバークロスに適量塗布して、施工面を脱脂します。



③ バフ装着

① 振動マルチツールに ② フィンガーサンディングパッド、③ 専用ウレタンバフ(ポート型)を取り付けます。



④ 施工範囲の分割

まとめて全体を施工せず、画像を目安に一度に施工する範囲を分割して、作業を繰り返して全体を完成させてください。

II 液剤滴下～乾燥



① 液剤滴下

調合した液剤を適量滴下します。今回の施工で一度に施工する範囲には3滴を目安に塗布します。



② 塗り広げ

分割した範囲に、ムラや透けが出ないように均一に液を塗り広げます。



③ 擦り込み

マルチツールを往復させながら繰り返し擦り込みを続けます。



④ 擦り込み完了

金属質の光沢が浮かび周囲の景色を反射しています。この状態になるまで擦り込みます。



⑤ 全体完了～乾燥

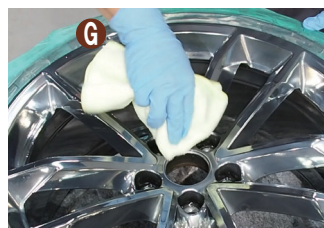
①～④の作業を繰り返し全体を仕上げてください。その後1時間ほど静置して乾燥させます。

III 拭き取り～完成



① 水拭き

高級ウレタンスポンジを使って、表面の油分を溶かすように施工面に水分を広げます。



② 乾拭き

すぐに新しいクロスを使って拭き取ります。表面の白い曇りがなくなるまで、①～②の作業を繰り返します。



③ 拭き取り完了

全体の拭き取りが完了しました。トップコートを施工する場合は、12時間ほど静置して乾燥させてください。



④ トップコート

さらに高耐久の被膜を形成する【吹き付け専用トップコート】の施工をお勧めします。詳細は別紙手順書をご覧ください。